

報道関係各位

2025 年 9 月 25 日

「人と素材と技術の力で『感動体験』を。」証券コード：6167

**「モノづくり体感スタジアム 2025」に出展
～キーホルダー作りで超合金製工具・金型の製造工程を紹介、
ものづくりの面白さを子どもたちに伝える～**

超合金製耐摩耗工具・金型製造の国内トップシェア、富士ダイス株式会社は、科学技術館 展示・イベントホールで開催された体験型イベント「モノづくり体感スタジアム 2025」（主催：モノづくり日本会議、日刊工業新聞社）に出展し、8月23日（土）に子ども向けワークショップを実施しました。昨年に引き続き2回目の参加となります。

ワークショップのタイトルは、「命を吹き込め！キーホルダー作りで金型体験！」。昨年好評だったプログラムを今年も実施、子どもたちは、金型を使ってレザーを型抜きし、自分で磨いたアルミ板を組み合わせたキーホルダーを製作しました。



【出来上がったキーホルダーを持つ子どもたち】

◆子どもたちが、超合金製工具・金型の製造工程の一部を体験◆

ワークショップでは、まずはスタッフが超合金の特長や製造工程を紹介し、「金型がピカピカだとツルツルするから摩耗に強くなって、金属に穴をあけたり曲げたりしても壊れにくい」と説明をしてから、キーホルダー作りをスタートしました。

子どもたちはレザーの色と抜型を選び、スタッフと一緒に型抜きをした後に、アルミ板をヤスリで「だんだんピカピカになってきた！」と一生懸命に磨いていました。仕上げにアルファベットの刻印をスタッフが入れてキーホルダーが完成しました。



【スタッフと一緒に型抜き】



【真剣にアルミ板を磨く子どもたち】

参加した子どもたちからは「磨くのが面白かった!」との感想が多く寄せられました。一緒に参加した保護者からは「こんなに夢中になって磨くと思わなかった」と、子どもの知らなかった一面を発見できたとの声がありました。



【当社ブースの様子】

富士ダイスは、10月25日(土)に開催される「おおたオープンファクトリー2025」に参加するなど、今後も未来を担う子どもたちに向けて「ものづくりの楽しさ」を伝える活動を続けてまいります。

◆「モノづくり体感スタジアム 2025」について◆

モノづくり日本会議と日刊工業新聞社が主催する子ども向けの体験型イベントです。体験型のワークショップを通じて次世代を担う子どもたちにモノづくりや理科、科学への興味・関心を喚起することに加え、創造力やコミュニケーション能力、課題解決能力を養うことを目的に、モノづくり日本会議の会員企業の有する子ども向けのコンテンツを一堂に会する「モノづくり体感スタジアム」を2009年から実施しています。

詳細はホームページ (<https://mono-stu.jp/>) をご覧ください。

◆富士ダイス株式会社について◆

当社は、創業76年、超硬合金製工具・金型メーカーです。素材開発力・精密加工技術に強みを持ち、国内のみならず海外2か国に生産拠点を展開し、国内トップシェアを誇っています。販売は直販体制を取り、お客様の個別のニーズに応じて、原料粉末の調製から焼結・機械加工・製品検査まで一貫生産体制で、幅広い業種のお客様とお取引引きさせていただいています。

詳細はこちら (<https://www.fujidie.co.jp/>) をご覧ください。

【報道各位からのお問い合わせ先】

富士ダイス株式会社 企画部

TEL : 03-3759-7183

E-Mail : prir.common@fujidie.co.jp